



「新しいアイデアを考え、それを具体的な企画にしよう」

(1)新しいアイデアを考えよう。

グループで考える商品やサービスの名称

※「技術編」をもとに、ブレインストーミング-KJ法などを提示する。

※グループで議論したことを、要約図として残しておく。

■アイデアを文章にして、まとめてみよう。

年 組 番 ■名前

(2)アイデアを具体的な企画にしよう。

誰に (Who)	ターゲット <例> 小学生	
何のために (Why)	ニーズ・必要性 <例> 中小企業のまちと、人工衛星に 代表される「ものづくり」への 興味を高めるため	
何を (What)	商品 <例> 「まいど1号」のベビーカステラ	
どんなとき (When)	時期・機会 <例> 市民祭りなどの地域のイベント	
どのような場所で (Where)	場所・場面 <例> 市民祭りなどの地域のイベント	
どのような方法で (How)	販売方法やプロモーション <例> 人工衛星などのかぶりもので子 どもに興味を持ってもらう。「ま いど1号」や地場産業の展示を する。	
どのような予算で (How much)	価格・数量 <例> 子どもが買える100円以内	(時間があれば、考えてみよう！)